



Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター
Newsletter No.55 (2016.12.22)



【特集】語学センター第二期機器更新完了報告

平成 27 年度春休み中に実施された第二期語学センター機器更新で新語学センターが完成し、稼働しています。

より多目的に使用できる環境づくりを目指した今回の更新では、語学センター 408 教室、自習室、事務室がそれまでの設備に新機能や改良を加えるというマイナーチェンジだったのに対し、語学センター入口部分と廊下部分は新たに活用できるよう、ガラリと生まれ変わりました。

特にランゲージラウンジでは、学生の皆さんが外国語でコミュニケーションを図る新しい空間を楽しんで利用している様子が更新直後から見受けられ、壁面のホワイトボードは様々な外国語でいつも賑わっています。

目次：

語学センター第二期機器更新完了報告	1
新語学センターハイライト	2
語学センターギャラリー展示報告	4
日本語 e ラーニング講座開始	4
貸出機器をご利用いただけます	4
英語検定試験、4技能対応の動き	4
感傷的なおもちの優雅な娘 ポッティチェリ《エテロの娘チッポラ》 (システイナ礼拝堂壁画「モーセの試練」部分)	
名誉教授・芸術資料館もと館長 大井健地先生	5
2016 年度前期 知のトライアスロン映画上映会	6
イベント報告 ほか	6

アクティブラーニングと外国語によるコミュニケーション空間の創造

語学センター長・国際学部教授 渡辺 智恵

2016 年（平成 28 年）3 月末、2 年間にわたる語学センター機器更新が完了しました。これまでとはまったく印象の異なる語学センターの誕生です。今回の機器更新のテーマは、「アクティブラーニングと外国語によるコミュニケーション空間の創造」。どのような語学センターに生まれ変わったのかご紹介しましょう。

まず、語学センターのある 4 階でエレベーターを降りた瞬間から、新たな語学センターの雰囲気を感じられるでしょう。これまで無味乾燥であったエレベーターホールに、杉材を使用したカウンターが設置されています。実は、このカウンターの後ろにゴミ箱が隠されているのです。語学センターに通じる廊下には深緑のカーペットと白いタイルカーペットが敷かれ、訪れる者を奥へと導いてくれます。

最も大きく変わったのが、語学センターのエントランス部分となるロビーです。スマートインフィルと呼ばれるアルミフレームを設置することで、囲まれ感のある空間が生まれました。ここには大型モニタ、数色のイスやテーブル、ソファが配され、リラックスした雰囲気の中で外国語の映画やニュースを視聴したり、外国語での会話や交流を楽しむ場として利用されます。日本人学生が留学生に日本語を教え、留学生が日本人学生にその母国語を教える「ランゲージチューター制度」が本格的に始動すれば、常に外国語が飛び交うコミュニケーション空間になることが期待されています。周囲の壁はホワイトボード仕様となっており、外国語による書き込みが語学センターらしい雰囲気を盛り上げてくれます。

ランゲージラウンジから奥に目を向けると、廊下の右側と天井部分に用いられた杉材が印象的です。杉材の後ろには LED 照明が配され、木のぬくもりが



網かけ部分が今回のリプレイス箇所

感じられる、明るく心地よい空間が演出されています。杉材を用いた廊下の右側は、語学センター廊下ギャラリーとしても利用されます。海外の風景や事物、海外派遣プログラムの写真などの展示が行われ、海外留学や国際交流への関心を高めます。廊下左側の壁もホワイトボード及びマグネット仕様となっており、言語別に様々な情報提供がなされます。

5つある CALL 教室（403A、403B、404、408、自習室）は、すべて雰囲気の異なるデザインとカラーが特徴です。404 教室と 408 教室はグループ学習やアクティブラーニングに対応した教室として整備されました。特に 408 教室には、可動式机・椅子、グループごとに使える電子黒板が配され、能動的な学習を一層支援する環境が整っています。

本学の皆さんにとっては、つい足を運び、ずっとなくなる語学センターに、そして本学の入学を目指す高校生には、「こんなところで勉強してみたい」と思ってもらえるような語学センターになったと自負しています。

今春 “ランゲージラウンジ”、“ギャラリー” が誕生

✧ 新語学センターハイライト ✧

春休みに行われた平成27年度語学センター第二期機器更新で、語学センターフロアの半分がリニューアルされました。新しい語学センターの様子をご紹介します。



ランゲージラウンジ・ゼミ風景 (国際学部 寺田英子先生)

ランゲージラウンジ 目にも耳にも外国語が飛び込んでくる空間

壁面ホワイトボード、大画面モニタ、iPad 6台、椅子12脚、四角テーブル2台、ソファ丸テーブル2台
主な機能：ラウンジ、プレゼンテーション

今回の機器更新で語学センター入口部分に新設されたランゲージラウンジには、2つのエリアがあります。

1つはフレームに囲まれたエリアで、ホワイトボードの中央にはモニタがあり、事務室から外国テレビ放送やDVDを流すことができます。HDMI、RGBケーブルで、外部機器をこのモニタに接続することが可能なので*、教員のノートパソコンを接続して画面をモニタに映し、ラウンジの椅子とテーブルを利用してゼミなど少人数授業を行うこともできます。

もう1つのエリアはフレームの外のソファエリアです。ここは、リラックスした雰囲気です。留学生を交え、外国語の会話練習や交流活動ができる場として整備されました。

ランゲージラウンジ
フレーム内



自由に使用できる iPad

2016年5月27日 オバマ大統領広島訪問

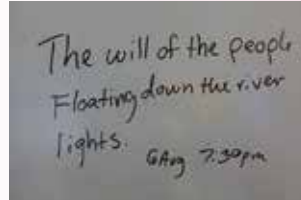


中継の様子

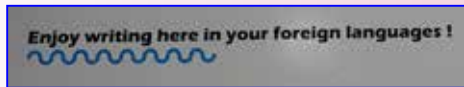
2016年5月27日、アメリカのバラク・オバマ大統領が広島訪問を実現し、各テレビ局が生中継をしました。

平和公園でのオバマ大統領の演説の後、フジテレビの中継で、小野有紗さん、高田青葉さん、亀川みなみさん(全員国際学部3年生)の3名が、語学センターの新設ランゲージラウンジから広島市立大学在生としてコメントしました。

(下)
夏の集中講座
「Hiroshima and Peace」
受講生からのメッセージ
“The will of the people
Floating down the river
lights.”



(上)
「Hiroshima and Peace」
受講生からのメッセージ
“Thank you for organizing
this wonderful program!
This has been really, really
special.”



書くのは“あなたの外国語”がルール



開講されていない外国語のメッセージも飛び交う

ラウンジには学生の皆さんが自由に使用できるツールとして、6台のiPadが可動式アームで取り付けられており、毎日、思い思いに利用されています。

ラウンジの壁面は天井までホワイトボードになり、“外国語”であれば自由に書いて良いコミュニケーションツールとして広く開放されています。機器更新前の予想をはるかに超え、本学で開講されている英語や他の外国語に限定されることのない様々な外国語で書かれたメッセージが飛び交い、途絶えることがありません。Hiroshima and Peaceの外国人受講者のメッセージで学外者の声を聴けたり、学内の先生からのメッセージが残ってあったり、楽しく知的好奇心をくすぐられる空間になっています。



Hiroshima テーブル (ソファエリア)

ランゲージラウンジ
全景





ランゲージラウンジから見た廊下。右が展示サイド、左が掲示サイド。

廊下ギャラリー 外国に関わる作品や写真を展示

展示サイド：展示用アクリルパネル 15 枚（常設枚数）
掲示サイド：壁面ホワイトボード

廊下の事務室側は壁面ホワイトボードの掲示板になっており、各外国語の検定情報や留学情報、また、CALL 英語集中・英語 e ラーニング授業や TOEIC 団体受験に関連する情報を提供しています。

ホワイトボード掲示板の向かい側は展示サイドで、木枠を取り付けた間接照明部分に、展示用アクリルパネルがあります。パネルは縦型で常設 15 枚ですが、掲示サイドに 5 枚増設もできます。

照明は LED で、人感センサーとタイマーコントロールにより、節電にも配慮しています。廊下ギャラリーでは、現在、第 3 回目の写真展が開催中です。（→ p4、記事参照。）

408 教室 レイアウトフリー、グループ学習 プロジェクタ付ホワイトボードでプレゼン

40 席、車いす対応テーブル 1 台、モノクロプリンタ 1 台
ノート PC 36 台・プロジェクタ付ホワイトボード 3 セット
主な機能：グループ学習、教室録画



プロジェクタ付
ホワイトボードと演台

408 教室は、平成 22 年度機器更新からノートパソコン、レイアウトフリーの完全ワイヤレス教室になっています。

今回の更新では、新たにプロジェクタ付のホワイトボードを 3 台導入し、より多様なグループ学習に対応できるように、教室機能が強化されました。プレゼンテーション用には、簡易な演台も設けてあり、ノート PC も常設されています。このホワイトボードではスマホやタブレットからのワイヤレス投影も可能です。*



Cross Culture and Communication 授業 (国際学部 Luke CARSON 先生)



ブースが機能的な椅子と手元用のライトでしっかり集中できる環境に

自習室 個室のような自習空間 カラープリンタ・スキャナを設置

80 席（車いす対応ブース 1 ブース）、
モノクロプリンタ 2 台、カラープリンタ兼スキャナ 1 台
主な機能：自習



手元用 LED ライト

自習室は個室のような自習空間に手元用ライトを増設し、グレードアップしました。

室内にカラープリンタ兼スキャナも設置されました。語学センターでのプリント枚数は、1 年間で 150 枚までですが、それを越えた場合、カウンターに用紙を持参すれば、枚数分印刷可能になります。（情報処理センターとは別カウントです。）カラー 1 枚＝白黒 5 枚としてカウントします。

事務室 教室システム監視 少人数スタッフで全方位対応できる仕組み

主な機能：教室システム監視、教室ヘルプ応答、教材作成・編集、
インフォメーションボードコンテンツ送出



事務室は少人数スタッフで、自習室の学生、教室サポート、公開講座問い合わせ対応などができるように、平成 22 年度から整備されている教室システム監視装置、教員ヘルプ応答システムを更新しました。

教材作成、編集作業用パソコン・AV 機器コーナーも一新され、レイアウトがより機能的になりました。

教室システム監視コントローラ



エレベーターホールも変わった！



エレベーターホール

図書館・語学センター棟 4 階のエレベーターホールには、黒板とカウンターが新設されました。

エレベーター正面の黒板は、イベント案内や留学募集掲示に効果を発揮しており、カウンターとあわせて、外部からの訪問者が最初に目にする場所として、語学センターをより印象づけています。



広島への思いを込めた
広島県産杉材

◆語学センターギャラリー展示報告◆

第1回「日浦慎作先生写真展」(2016.7.13 - 8.10)

第2回「サンフランシスコ交流プログラム写真展」(2016.10.10-11.11)



日浦慎作先生
写真展



サンフランシスコ
交流プログラム
写真展

今春、語学センター廊下にギャラリーが誕生し、外国や国際交流に関する様々な写真展を開催しています。記念すべき第1回は、情報科学研究科日浦慎作先生の写真作品を7月13日から8月10日まで展示しました。普段、デジタル画像処理や次世代カメラについて研究されている日浦先生が、先生ご自身のクラシックカメラで撮影し、暗室で現像・引き伸ばしをして制作された、文学本の挿絵のような絵画調の味わいのある作品10点でした。

第2回は、国際交流推進センターが9月12日から20日まで実施したサンフランシスコ交流プログラムからの写真26点を、10月10日ライブキャンパスの日から11月11日まで展示しました。参加学生が現地で様々な体験を楽しんでいる写真を、ライブキャンパスに参加した受験生、保護者の皆さんも興味を持ってご覧になっていました。

12月6日から12月22日までは第3回の展示として、国際学部目黒紀夫先生主催の「アフリカン・プリコラージュ！」アフリック・アフリカ大学巡回写真展を開催し、好評を博しています。報告は次号でいたします。

全留学生対象 日本語 eラーニング講座開始!

語学センターでは、今年度より全留学生を対象とした募集型の日本語eラーニング講座(ALC教育社)を開始しました。

これまでに前期と後期の2回実施しており、国際学部武藤彩加先生をはじめとする日本語担当の先生方にもご協力いただいています。

日本語能力検定試験の1級突破を目指している留学生や、提携校からの留学中に少しでも日本語を身につけたい、という交換留学生など、留学生の皆さんはぜひ積極的に受講して、役立ててもらいたいと思います。

《日本語 eラーニング講座》

- システム : アルク Net Academy 2 日本語コース
- 学習内容 : 聴解、読解、語彙、日本語能力試験ミニテスト、文字
- レベル : 日本語能力試験 1~4級 (旧レベル)
- 実施日程 : <前期> 2016年7月25日(月)~9月25日(日)
<後期> 2016年11月7日(月)~2017年1月6日(金)
- 受講者数 : <前期> 11名 <後期> 7名
- 受講料 : 無料

貸出機器をご利用いただけます

語学センター事務室では、語学センター教室で使用する機器の貸し出しを行っています。

春休みに行われた第二期機器更新で、以下の機器が貸出可能となりましたので、ご利用ください。(事前のお申込み、動作確認をよろしく願います。)

- ・ iPad mini 5台
- ・ MacBook Air (語学センター各教室用)
- ・ デジタルビデオカメラ 2台
- ・ デジタルカメラ 2台
- ・ ポータブル書画カメラ 1台
- ・ 外付けブルーレイドライブ 1台
- ・ マルチカードリーダー 5台
- ・ USBスピーカー 2台
- ・ ICレコーダー 1台
- ・ リージョンフリーブルーレイプレイヤー 1台
- ・ ポータブルCDラジカセ 1台



*授業使用が優先のため、学生への貸し出しは教員の監督が必要です。(カードリーダーを除く。)

TOEIC® が TOEIC® Listening & Reading Test に 英語検定試験、4技能対応の動き

政府の大学入試改革検討における英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)重視に先導され、近年、主だった英語能力検定試験で対応を図る動きが出ています。

TOEIC® は今年の8月5日、名称を TOEIC® Listening & Reading Test に変え、TOEIC® SW (Speaking & Writing) テストと合わせて4技能対応であることを改めて示しました。

英検は今春、4・5級にスピーキングを導入し、1・準1・2級では英作文について、大きな変更がありました。採点方法も変わっています。

元々4技能対応の TOEFL、IELTS の他に、新規に開発された TEAP のような試験も注目されています。

このような動きの中、関連の情報提供を目的としたポータルサイトが2015年1月に公開され、日本で実施されている主だった英語検定試験の情報提供の場になっています。各試験と CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) の対照表など、情報収集に役立ちます。

「英語4技能試験情報サイト」
(英語4技能 資格・検定試験 懇談会)
<http://4skills.eiken.or.jp/index.html>

感傷的なおももちの優雅な娘

ボッティチェリ《エテロの娘チッポラ》(システィナ礼拝堂壁画「モーセの試練」部分)

大井健地 (名誉教授・芸術資料館もと館長)

スワンとオデットのつきあいはじまりはスワン所蔵の美術品を拝見させてくれとオデットのほうから申し出があって、以降ひんぱんに訪ねてき、また、「それであなたのほうでも」と哀願のまなざしでオデットは言った。

「一度うちにお茶にいらっしやいませんか？」

美人とはいえその気になれない、この女性の誘いを断る口実に、オランダ人画家フェルメール(1632-75)の研究に多忙だとスワンは言うが、オデットはめげない。

「あたしなど、学識ある先生がたの前に出たカエルのようなものですわ。でも、あたし、勉強したい。」

「お会いできない理由の原因の画家さんは、まだご健在ですか？ そのかたのお名前は聞いたことがないですが作品はパリで見られるのでしょうか？」

僕が依拠しているのは吉川一義訳『失われた時を求めて(略称RTP) 2 スワン家のほうへII』岩波文庫版。この訳者選定の図版の多用は本文理解のために効果抜群(他の訳本と比較して明白)、かつ一種の索引としても機能しうる。僕は図版そのものをも楽しめている。

訳者はスワンになりかわりオデットの問いに注で答える。「パリで鑑賞できるフェルメールの作品はルーヴル美術館所蔵の2点のみ。」《レースを編む女》は1870年購入。《天文学者》は、なんとごくごく近年である1983年の入手という。

スワンをはじめて家に迎えたオデットが紅茶をいれた。「レモン、それともクリーム?」「ほんのちょっぴりでしょ!」「ほら、あたし、あなたの好みがわかってるでしょ。」

しなりの利いた名訳とされる井上究一郎訳・筑摩書房版では下線部、「白い雪をぼとり!」と訳している。

スワンは心中でくり返す。「あのかわいい女が自分のものになり……おいしくて珍しい紅茶をご馳走になれるなら。」

二度目の訪問時、スワンは、はっとした。ボッティチェリがシスティナ礼拝堂壁画に描いた旧約モーセ伝の、祭司エテロの娘チッポラに、彼女はそっくりだったからだ。

「刺繍をほどこした布を胸元にかき合わせ」、「ほどこした髪を両頬にそって垂らし……すこし踊るような、片脚を曲げ首をかしげた姿勢」のオデット。じつはフルーストは絵から文をつくっている。オデットの容姿は絵(図版)に基いて記述しているのだ。



ヴァチカン宮のこの壁画についての美術史家の解説文を引く。壁面前景場面は「美しい牧歌的な情調をただよわせており、感傷的なおももちをした優雅な娘…もの思わじげな表情と疲れた体つき」(摩寿意善郎、「ファブリ世界名画集3」)。

ボッティチェリの名品の奥底に漂う憂いと疲労感こそ、ここで見届けておきたい情趣であり精神性だと思う。スワンにとっては辛い顔をしているオデットからこそ、ボッティチェリの女たちが連想されるのだ。「あまりにも辛き苦痛の重みに耐えかねるような、打ちひしがれた悲痛な表情」。

オデットは理くつにあわない嘘をつく。噂どおり身持ちの悪い女か。

あれを相手に美学の講義とは! よほどめでたい男だ——とは通の弁。大長編の巻頭の次が「スワンの恋」(1850年代の話)で、この部分は語り手の「私」に直接は関係しない。「私」が1880年代にオデットの娘ジルベルトに恋し、ついでアルベルチーナに恋する。この3つの恋愛がRTPの縦系になる。

「スワンの恋」の最後はスワンが心中で言い放つセリフ。いやはや、人生を台なしにし、死まで思いつめ、かつてない大恋愛をした。気にも入らず、俺の好みでもない女だというのに!

ボッティチェリの絵の女にそっくりだから、惚れた、真剣な恋愛対象にする——そういうのはおかしいですね。「訳者あとがき」は倒錯した芸術受容や偶像崇拜的芸術趣味を指摘する。

ところでフルーストはローマを訪れていない。現物は見ず、研究書の写真複製図版に依って鑑賞している。現地システィナ礼拝堂を訪れた人は承知のことだが、ミケランジェロの最後の審判図、天井画など超人的スケールに圧倒され、この熱狂空間の作品を仔細に「鑑賞できた」と言えるものではない。堂内での時間内に左側壁のボッティチェリ壁画(3面ある)のチッポラ像にとりわけて注目することは難事である。

ちくま文庫版の第1巻表紙カバーではカラーでチッポラ上半身を小挿図にしている。おかしいことに気づいた。チッポラの鼻の穴の右側、光の加減か汚れのせい穴のまんなか白くて、左の穴も勘定にいとると穴3つに見える。細部にこだわって点検観察する僕の見方が不自然なのだが。でもね、《春》と《ヴィーナス誕生》だけのボッティチェリでなく、大画家の全貌と細部にも関心を持つと興味は奥深々と湧くのです。



2016年度前期 知のトライアスロン映画上映会開催



テーマ 「アフリカ」を感じる／考える：紛争と貧しさ、そして音楽と希望

6月20日（月）～6月24日（金）に、語学センターにて、いちだい知のトライアスロン映画上映会を開催しました。国際学部のヴェール・ウルリケ先生にご協力いただき、「多文化共生入門」との連携企画で行いました。映画を推薦して下さった国際学部の田川玄先生に映画の解説をしていただき、大盛況な上映会となりました。アフリカを舞台にした映画を中心に7本の作品を日替わりで上映しました。

後期12月5日（月）～12月9日（金）には、ゴーマン・マイケル先生にご協力いただき、「言語・コミュニケーション研究入門」との連携企画で映画上映会を開催しました。次号で報告いたします。

テーマ：「アフリカ」を感じる／考える：紛争と貧しさ、そして音楽と希望

映画解説：6月20日（月）14:40～16:10 国際学部 田川玄先生
「おじいさんと草原の小学校」

その他上映映画：「ベンダ・ビリリ！ もう一つのキンシャサの奇跡」
「ツォツィ」「おいしいコーヒーの真実」「チョコラ！」
「グッド・ライ いちばん優しい嘘」

*番外編：「ムーラン」（国際学部講義「多文化共生入門」で使用）

◆今回上記の作品を見逃した方は、附属図書館で視聴することが出来ます。



田川先生から映画の舞台であるケニアの教育事情などについて解説がありました

イベント報告

● サンフランシスコ交流プログラム説明会

7月13日（水）、8月3日（水）、9月9日（金）に、語学センターにて、サンフランシスコ交流プログラム説明会が開催されました。プログラムの実施期間は、9月12日（月）から9月20日（火）の9日間で、参加する学生にスケジュールを説明するとともに、現地でのホームステイに向けて、語学研修や平和学習を行いました。

● オルレアン大学短期特別研修事前授業

8月8日（月）に、同センター408教室にて、フランス・オルレアン大学短期特別研修事前授業が行われました。学生は、8月22日（月）から9月18日（日）の研修に先駆けて、国際学部の大場静枝先生より、フランスの歴史や文化についての講義を受けました。

● マレーシア科学大学の学生が語学センターを訪問

8月22日（月）に、マレーシア・ペナンのマレーシア科学大学の学生及び教職員の皆様が本学を訪問され、語学センター408教室で、広島を紹介するDVDを鑑賞されました。教室やラウンジで写真撮影をする姿も見受けられ、訪問を楽しんでいる様子でした。



408教室で動画を鑑賞するマレーシア科学大学の学生

◆視察・オープンキャンパス等報告◆

- 4月28日 広島県立千代田高等学校（8名）
- 6月2日 進路指導教員対象大学説明会（14名）
- 6月19日 プレオープンキャンパス（51名）
- 6月30日 広島県立東城高等学校（37名）
- 7月6日 広島県安芸太田町立加計中学校（22名）
- 7月8日 広島県立安芸府中高等学校（31名）
- 8月7日 オープンキャンパス（177名）
- 10月10日 ライブキャンパス（60名）
- 10月14日 広島県立可部高等学校（42名）
- 10月27日 岡山県立玉島高等学校（42名）
- 12月7日 安芸太田町立戸河内中学校（16名）
- 12月9日 広島市立美鈴が丘高等学校（10名）

*連載「外国語に想う」は特集のため、お休みです。次号にご期待ください。

市大英語 eラーニング講座開講

今年度も、市民を対象とした英語のeラーニング講座が7月24日（日）～9月24日（土）に語学センターを含む市内3か所の施設で開講されました。同センターでは延べ125名の方が受講されました。

発行日 2016年12月22日
発行 広島市立大学語学センター
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3-4-1
編集 堀本真由美、加藤美奈 <内線：6410 >
Phone (082)830-1509 Fax (082)830-1794
E-mail lang@intl.hiroshima-cu.ac.jp
ホームページ
<http://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/index.html>